

「マットワールド1」(マット運動)

平成18年10月18日(金) 2校時

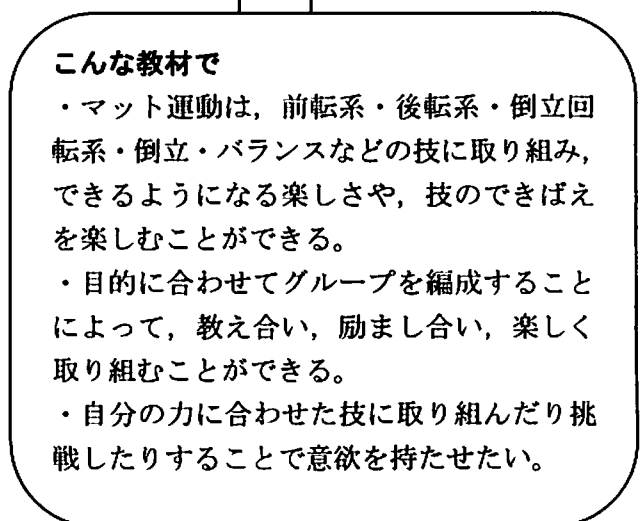
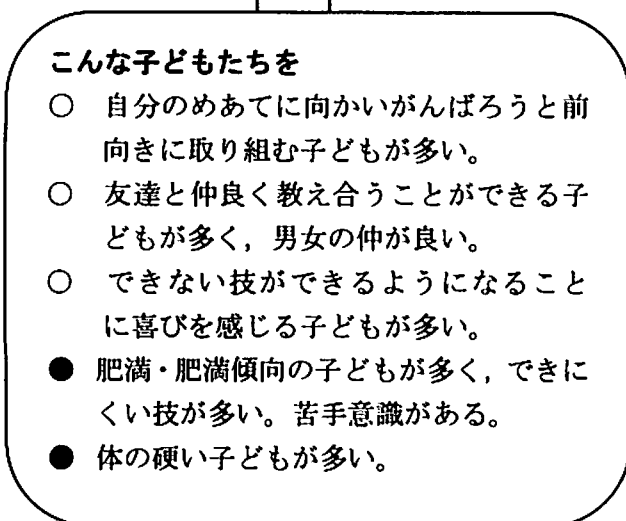
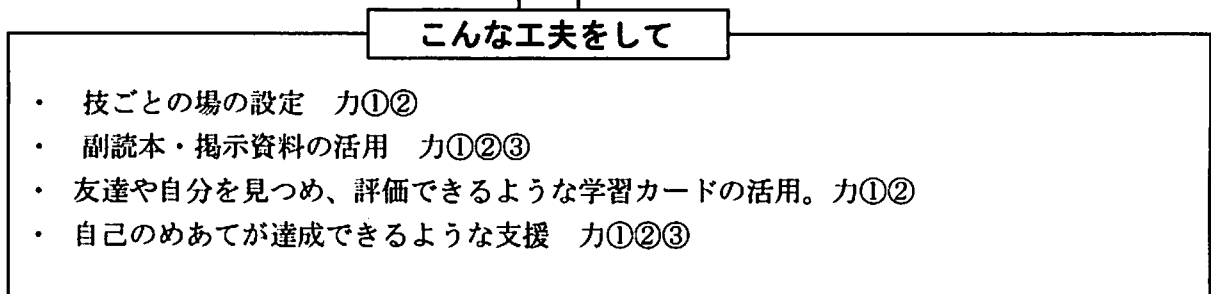
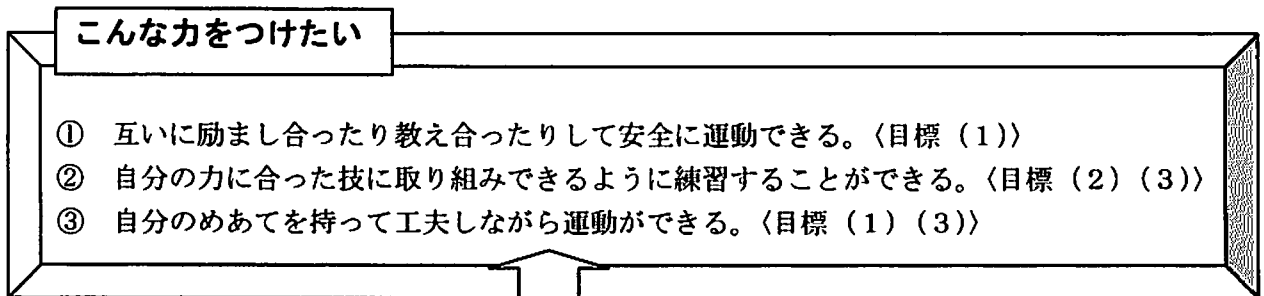
授業者 山田裕子

男子16名 女子16名 計32名

1 単元目標

- (1) 互いに教え合い、励まし合って運動したり、安全に気をつけながら運動したりすることができる。
- (2) 自分の力に合った技に取り組んだり、その技ができるようにする。今できる技を生かして組み合わせたり、友達と合わせたりできる。
- (3) 自分のめあてを持ち、友達からの声かけや学習情報を活用し、工夫しながら運動することができる。

2 授業者の願い



3 研究との関わり

(1) マット運動の楽しさを味わわせるための工夫

技ほぐしの運動

- ・授業の初めにマット運動の技につながるやさしい運動を行い、心と体をほぐす。
- ・音楽に合わせたグループごとの準備運動を行うことで、4・5教時に技を組み合わせたり、友達と合わせたりするときに、より楽しく取り組めるよう音楽を使いたいのので慣れさせておきたい。

技の習得・習熟のために

- ・技ができることや、できる技を続けたり、組み合わせたりして調子よくできると喜びが大きく楽しさを感じることができる。その反面いくら努力してもできない場合は挑戦意欲を失い、嫌いになることもある。副読本や掲示資料等の活用、技やその上達ポイントを知ることが大切であることを知らせたい。また、友達との教え合い・励まし合ったりしながら技を身につけていくような学習を大切にしたい。
- ・技ができるようにするために、マットを傾斜させたり、マットを2つ折りにして細く厚くするなど、やさしい場を用意する。

自分に合っためあて

- ・技能面では個人差が大変大きいので、自分ができる技に取り組む・自分の力に合った技に挑戦するめあてを持つことで、進んで取り組むことができ、意欲が高まると思う。できる技やできそうな技について見通しが持てるよう支援したい。

(3) 友達との関わりの方の工夫

グループ編成

- ・男女混合の4人グループ、技別グループ、場別グループ等目的に合わせてグループを編成する。(教え合いを大切にしている段階・技能や教え合いの高まりのある段階・組み合わせを楽しむ段階)
- ・友達と教え合ったり励まし合ったりしながら体を動かすことを子どもたちは好んでいる。(事前調査より)教え合い・励まし合いを大切にしながら学習を進めていくために、教え合いの上手なグループを賞賛し紹介する。

グループでの技の組み合わせ

- ・グループで技を選択し、動きを構成してみんなで楽しむ活動を取り入れることで、楽しさの幅を広げることができる。その中で新たに互いのよさに気づくことができる。

学習カード

- ・めあて、見通しを持つため、また友達のよさやよいアドバイス、できたときのコツ、教え合い等について振り返る場としても学習カードを活用する。紹介することで友達のよさを認め合いたい。

4 学習計画 5時間扱い（本時 3時間目）

時	はじめ	なか			まとめ
	1	2	3	4	5
10	はじめ	場の設定 準備運動 体ほぐし		場の設定 準備運動 体ほぐし	
	・学習の進め方を知る。 ・体ほぐしとしてマットで運動遊びをする。 ・学習する技を知る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて① エンジョイタイム 今もっている力で技を楽しむ。</div> <p>・今できる技に取り組み、正確に行ったり、自分のできる技を知ったりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて② レベルアップタイム 技に挑戦して楽しむ。</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて② レベルアップタイム 技に挑戦して楽しむ。</div> <p>・もう少しでできそうな技や、新しい技に挑戦する。</p>	
20	・学習の進め方を知る。 ・体ほぐしとしてマットで運動遊びをする。 ・学習する技を知る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて② レベルアップタイム 技に挑戦して楽しむ。</div> <p>・もう少しでできそうな技や、新しい</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて① エンジョイタイム 今もっている力で技を楽しむ。</div> <p>・今できる技を組み合わせたり、友達と調子を合わせたり変えたりして楽しむ。 ○体育の4人グループ</p>	
30	前転系 後転系 倒立回転系 倒立系 ・学習の進め方の見通しを持つ。 後片付け	<p>技に挑戦する。 ○技ごとのグループ</p>			
40		後片付け			
		学習の振り返り（5分）		友達のよさ・自分のよさ・発見・感想	

5 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・今できる技に取り組み、正確に行ったり、自分のできる技を知ったりする。
- ・もう少しでできそうな技や新しい技に挑戦し、できるようにする。
- ・友達と教え合ったり、励まし合ったり、相談したりして運動する。

(2) 授業の視点

- ・一人ひとりが自分のめあてに向かい、ポイントをおさえながら取り組んでいたか。
- ・めあて①、めあて②それぞれの場で教え合いが起きていたか。

(3) 学習の展開

<p>・留意事項 ○支援 評価</p>	<p>時間</p>	<p>学 習 活 動 の 流 れ</p>
<p>・安全に運動できるように準備する。 ・体育のグループごとに準備運動を行わせる。 ・使う体の部分を意識させる。 かえるの足打ち ゆりかご ブリッジくぐり ・自分のめあてを確認し、その技のポイント練習方法を考えさせる。 ○グループ学習の仕方（見るポイント、見る位置、言葉かけ）や場の使い方、補助の仕方について助言する。 ○技のポイントを、学習情報の活用やポイント指導によって助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分の力に合った技に取り組み、その技ができるか。</p> </div>	<p>4</p>	<p>1 場を準備する。 2 準備体操をする。 体ほぐしとしてマットで運動遊びをする。 3 学習の流れを確認する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分で学習情報を活用したり、友達と教え合ったり相談しあったりして工夫して練習しているか。</p> </div>	<p>9</p>	<p>4 今できる技に取り組み、正確に行ったり、自分のできる技を知ったりする。(エンジョイタイム) ・技ごとにグループになって練習する。(2~4名) ・学習情報を活用し、教え合いながら進める。</p>
<p>・めあてに向かって学習している児童や、教え合いの上手なグループを賞賛する。 ・取り組みが停滞しているグループには特に注意して助言する。</p>	<p>2 3</p>	<p>5 もう少しでできそうな技や新しい技に挑戦する。 (レベルアップタイム) ・音楽がなったら、自分が挑戦する技の場所に移動し、技ごとにグループになって練習する。 ・学習情報を活用し、教え合い、励まし合いながら進める。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分の力に合った技に挑戦し、その技ができるか。</p> </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友達と教え合い、励まし合って運動しようとしているか。</p> </div>		
<p>・友達によさや良いアドバイス、できたときのコツなどを振り返り、互いによさを認め合い、次時への意欲を持たせる。 ・次時はできる技を組み合わせてたり、友達と合わせたりすることを予告する。</p>	<p>3 7</p>	<p>7 学習を振り返る。 ・ 友達によさ ・ 発見したコツ ・ 楽しかったこと などを発表する。</p>
<p>・協力して、安全に素早く片付けさせる。</p>	<p>4 2</p>	<p>6 後片付けをする。</p>